

血液・腫瘍内科

研修の特色

血液・腫瘍内科では血液内科および腫瘍内科の研修を行う。血液内科の研修では、血液疾患における診療を通して、検査方法の理解、検査の実施、検査結果の解釈や、化学療法への適応、薬剤の有害事象や支持療法など幅広い知識を習得する。当科は日本血液学会の認定血液研修施設であり、血液専門医を目指す医師は内科専門医の研修とともに血液専門医のための研修も行うことが可能である。具体的なカリキュラムについては日本内科学会による内科専門研修カリキュラム、日本血液学会にて準備中の血液専門研修カリキュラムを参照されたい。

また、腫瘍内科として院内のキャンサーボードおよび化学療法内科と連携し、原発不明癌の診療など、がん薬物療法の研修も行う。当院は日本臨床腫瘍学会の認定研修施設であり、がん薬物療法専門医の取得を目指す医師の研修も可能である。



専攻医からのメッセージ

公立陶生病院で内科／血液・腫瘍内科専攻医として働いています。当院では、新専門医制度開始前から初期研修後の内科ローテーション制度が確立しており、各科でスタッフ同様の仕事を任されることも多く、内科医として総合力を養うのに充実した期間となります。その後、現在は血液・腫瘍内科に所属しておりますが、移植を含めた様々な症例、および学会や論文発表など学術的なことまで多くの経験の機会をもらっています。また、どの上級医の先生も熱心で、問題があれば常にディスカッション・アドバイスをいただけるため大変恵まれた研修環境であるように感じます。他の診療科も同様に充実していますので是非一度見学にきてみてください。